

イベント	
番号	UC00769
受付日時	2011/07/11 19:45:03
発生日時	2011/07/11 19:45:03
状態	Warning
通報元	UniversalConnector
ソース	admin
イベント区分	その他
イベント	
ジョブID	00233
メッセージ	ジョブの実行 (マシンを起動)

ジョブ					
フィルタ	条件...				
<input type="checkbox"/>	番号	開始日時	終了日時	状態	概要
<input type="checkbox"/>	00233-00	2011/07/11 19:45:03	2011/07/11 19:49:18	Success	マシンを起動する (w2k3-01)

運用ログ				
表示件数	50	レベル	通常	
日時	レベル	ジョブID	メッセージ	
2011/07/11 19:49:19	警告	00233	ジョブが終了しました。処理の一部に警告が発生しています。(admin)	
2011/07/11 19:49:18	通常	00233-00	アクション (マシンを起動する (w2k3-01)) が (admin) で正常終了しました。	
2011/07/11 19:45:22	警告	00233-00	アクションの状況: (25%) : マシンのOOBのログインに失敗しました。アカウント情報が間違っています。接続先のログインシステムによっては大文字/小文字が区別されることがあるため注意してください。(マシン=w2k3-01; エラーコード=10206613)	
2011/07/11 19:45:03	通常	00233-00	アクション (マシンを起動する) を (admin) で実行します。	
2011/07/11 19:45:03	通常	00233	ジョブを開始します。(admin) : 1	
2011/07/11 19:45:03	通常		ジョブの実行 (マシンを起動)	

2. ジョブが異常終了した場合の対処方法

詳細情報に表示される内容別に考えられるエラー原因、対処方法を説明します。

DPMサーバとの通信時にエラーが発生しました。

DPMサーバが成功以外の終了コードを返却しました。

- DeploymentManagerの管理サーバ上のInternet Information Services (IIS)のサービスの停止や、SystemProvisioingとDeploymentManager間のネットワークの問題が原因で、SystemProvisioingからIISに接続できない場合、上記エラーになります。IISのサービスの起動状態や設定、SystemProvisioingとDeploymentManager間の通信経路に問題がないか確認してください。

ソケットでエラーが発生しました。

サーバ(XXXXXX)の電源ONに失敗しました。電源ONに失敗しました。

- 管理サーバ上のDeploymentManagerのサービスが停止している場合、上記メッセージのエラーが発生します。DeploymentManagerのサービスの起動状態を確認し、問題がある場合は起動しなおしてください。

サーバ(XXXXXX)の状態取得に失敗しました。

- 管理対象マシンがDeploymentManagerに登録されていない場合、DeploymentManager経由で電源制御することができません。DeploymentManagerのWebコンソールで管理対象マシンが登録されているか確認してください。
- 管理対象マシンのUUIDとプライマリNIC(NIC番号1番のNIC)のMACアドレスについて、DeploymentManagerとSigmaSystemCenterに登録されている情報が異なるとエラーになります。登録情報が一致するように登録しなおしてください。

操作がタイムアウトしました。

- DeploymentManagerを利用した電源制御が実行された場合、下記の要因で、管理対象マシンの電源がオンにならない場合があります。SigmaSystemCenterは管理対象マシン側の処理状況を把握することができないため、操作がタイムアウトするまでエラーを検出することができません。
 - 管理対象マシンのBIOS設定でWakeOnLan(WOL)の設定が無効になっている場合はWOLできません。管理対象マシンのハードウェアのマニュアルを参考に、BIOS設定を変更してください。
 - 管理対象マシンの電源ボタンを長押しで電源オフしたか、前回シャットダウン後にターゲットへの通電が切れること

がなかったか確認してください。WOLを行うためには、管理対象マシンのNIC への通電(S5状態)が必要です。該当する場合は、WOLできませんので管理対象マシンの電源ボタンを押下しマシンを起動してください。

- 管理対象マシンのOSがWindowsの場合、機種によっては、管理対象マシンのOS上のネットワーク 設定でWOL設定を既定値から変更する必要があります。既定値のまま利用している場合は、WOLすることができません。管理対象マシンのハードウェアのマニュアルを参考に、管理対象マシンのOSのネットワーク設定を変更してください。
- ネットワークケーブルが切断していたり、ファイアウォールで遮断されていたりなど、管理サーバと管理対象マシン間のネットワーク経路上に問題がある場合、管理対象マシンへWOLパケットが届かないため、管理対象マシンは起動しません。管理サーバと管理対象マシン間のネットワークに問題がないか確認してください。
- 別セグメントの管理対象マシンをWOLさせる場合、DeploymentManagerに登録するグループにデフォルトゲートウェイとサブネットマスクの設定が必要になります。また、ゲートウェイにダイレクトブロードキャストをルーティングする設定が必要になります。
- 管理対象マシンが起動途中で止まってしまった場合、SigmaSystemCenterは管理対象マシンのOS起動成功を確認するまで管理対象マシン側の処理状況を把握することができないため、操作がタイムアウトするまでエラーを検出することができません。OS起動確認は、物理サーバの場合、DeploymentManager経由でPingによる疎通確認で行います。仮想マシンサーバと仮想マシンの場合、各仮想基盤製品による起動状態(接続状態)の確認で行います。管理対象マシンのコンソールで管理対象マシンの状態を確認してください。途中で止まっている場合は、正常に起動できるように管理対象マシンをセッティングしてください。
- VMware/XenServer/Hyper-Vの仮想マシンの場合、仮想マシンにVMwareTools/XenServerTools/Hyper-V統合サービスがインストールされていないとOS起動状態を確認できないためタイムアウトエラーになります。VMwareTools/XenServerTools/Hyper-V統合サービスを仮想マシンにインストールした状態で利用してください。

マシンのOOB接続に失敗しました。OOBアカウント情報の接続先の内容、または、ネットワーク経路上に問題がないか確認してください。

- BMCへ接続に失敗した場合にエラーになります。表示内容の通り、SigmaSystemCenterのBMCの接続先の設定内容やSigmaSystemCenter管理サーバと管理対象マシンBMC間のネットワーク経路上に問題がないか確認してください。

詳細: 最適起動が無効であるため、起動場所となるVMサーバの探索は行なわれませんでした。

- 最適起動が無効である場合、仮想マシンを起動するためには、現在ホストとしている仮想マシンサーバが以下の条件をすべて満たす必要があります。仮想マシンサーバの状態を確認して下さい。
 - 起動状態である。
 - メンテナンス中でない。
 - 処理中でない。
 - 故障状態でない。
 - キャパシティに空きがある。
 - 対象仮想マシンの配置制約に違反しない。

詳細: 起動場所候補となるVMサーバが存在しません。

詳細: VM(xx)の起動場所となるVMサーバが見つかりませんでした。

- 最適起動が有効のとき、起動場所として適切なホストが存在しない場合は、上記のメッセージを出力し、異常終了します。仮想マシンの起動先となる仮想マシンサーバは、以下の条件をすべて満たす必要があります。以下の条件をすべて満たす仮想マシンサーバが存在することを確認して下さい。
 - メンテナンス中でない。
 - 処理中(但し起動処理を除く)でない。
 - 故障状態でない。
 - キャパシティに空きがある。
 - 対象仮想マシンの配置制約に違反しない。
 - 対象仮想マシンの全仮想ディスクが、仮想マシンサーバに接続されたDatastore上に存在する。

詳細: VMサーバ(xx.xx.xx.xx)の状態取得に失敗しました。(<追加情報>)

- 仮想環境において、SigmaSystemCenterが仮想環境の制御を行う製品に接続できない状態になったとき、仮想マシンの制御をすることができなくなります。
 - VMware(vCenter Server)環境の場合、SigmaSystemCenterからvCenter Serverに接続できない状況で発生します。vCenter Serverのサービスが停止していたり、SigmaSystemCenterとvCenter Server間の接続経路に問題がないか確認してください。また、SigmaSystemCenterに登録している vCenter Serverのアカウント名/パスワードが違っても、仮想マシンの制御をすることはできません。[管理]ビューから[サブシステム]で"VMware vCenter Server"サブシステムの設定を確認してください。

- XenServer環境の場合、SigmaSystemCenterからPool Masterマシンに接続できない状況で発生します。SigmaSystemCenterとPool Masterマシン間の接続経路に問題がないか確認してください。また、SigmaSystemCenterに登録しているPool Masterのアカウント名/パスワードが違う場合も、仮想マシンの制御することはできません。[管理]ビューから[サブシステム]で"Citrix XenServer Pool Master"サブシステムの設定を確認してください。

マシン(xx.xx.xx.xx)に対する起動を実行できません。OOBマシンアカウントまたはサブシステム(DPMサーバ)が登録されていることを確認して下さい。

- 論理マシンで運用(ブートコンフィグ/サービスプロファイルを利用した運用)している場合、DeploymentManager経由の電源制御(WOL)はサポートされません。BMC経由の電源制御方法を利用する必要があります。管理対象のOOBのアカウント情報の登録を行ってください。
- 仮想マシンサーバの起動操作は、仮想基盤製品経由で実行できません。仮想マシンサーバの起動操作を行うためには、DeploymentManager経由かBMC経由のどちらかの電源制御方法を利用する必要があります。管理対象の仮想マシンサーバをDeploymentManagerに登録するか、OOBのアカウント情報の登録を行ってください。

[VMware vCenter Server] 理由:<エラーメッセージ>

- vCenter Server経由での仮想マシンの起動において、vCenter Server上でエラーが発生した場合、上記の<エラーメッセージ>が、vCenter Serverから返却されます。
次のVMware社のナレッジ情報を確認して解決してください。
 - 仮想マシンがパワーオンできない場合のトラブルシューティング (2033241)
 - <http://kb.vmware.com/kb/2033241>

3. ジョブの状態が "Warning" の場合の対処方法

BMC (Baseboard Management Controller) 経由で電源制御で失敗した後、最終的にDeploymentManager経由の制御で成功した場合、"Warning" でジョブが終了します。運用ログの "警告" の行に表示される内容別に考えられるエラー原因、対処方法を説明します。

マシンのOOBのログインに失敗しました。アカウント情報が間違っています。接続先のログインシステムによっては大文字/小文字が区別されることがあるため注意してください。

- BMCに設定されたユーザ、パスワードの設定と、SigmaSystemCenterに登録された BMCに接続するためのユーザ、パスワードの設定が異なる場合、エラーになります。ユーザ、パスワードの設定が正しいか確認してください。

指定のマシンと異なるマシンにつながりました。OOBアカウント情報の接続先の内容を確認してください。

- SigmaSystemCenterに登録されたBMCの接続先のIP設定が、設定対象のマシンと異なるマシンのIPの場合、エラーになります。接続先の設定内容が設定対象のマシンになっているか確認してください。
- その他、下記ケースのように他マシンとBMCのIP設定が重複した場合、本エラーになる可能性があります。BMCの接続先のIP設定を他と重複しないように設定してください。
 1. BMCのIPアドレス変更(他で使用していたIPを別のBMCに割り当てた場合)
 2. 故障ブレード交換(新ブレードのBMCに旧ブレードのIP割り当てた場合)

OOB ManagementによるXXXに失敗しました。設定されているアカウントでは権限が不足しています。(XXX = 操作名)

- BMCに設定されたアカウントの権限が不足している場合、エラーになります。BMCに設定されたアカウントの設定が正しいか確認してください。アカウント設定については、BMCのWebコンソールから設定が可能です。

OOB ManagementによるXXXに失敗しました。マシンのBMCが一時的にビジー状態だった可能性があります。(XXX = 操作名)

OOB ManagementによるXXXに失敗しました。一時的にセッションの上限を超えた可能性があります。(XXX = 操作名)

- 同一の操作対象マシンのBMCに対し複数の操作が集中的に実行され、BMCが高負荷状態になった場合にエラーが発生します。BMCへの制御が行われる操作は、起動操作以外に、SEL情報取得やセンサー情報再取得などの他のOOB管理の操作も該当します。エラーになった場合は、時間を置いて、BMCの高負荷状態が解消した後に、再度操作を行ってください。
- 同一のBMCに対し多数の操作を一齐同時に行うなどの極端な負荷をかけない限りは、通常は本エラーは発生しません。エラーが多発する場合は極端な負荷がかかるような利用方法に問題があると考えられるので、利用方法を見直してください。

4. 詳細説明が記載された資料について

SigmaSystemCenterのBMCの接続先の設定については、SigmaSystemCenter sscコマンドリファレンスの [2.7 マシンアカウント]を参照してください。

BMCに設定されたアカウントについては、SigmaSystemCenter コンフィグレーションガイドの下記を参照してください。

- SSC3.0の場合:[3.9. Out-of-Band (OOB) Managementを利用するための事前設定を行う]
- SSC3.0u1, SSC3.1, SSC3.1u1の場合:[3.10. Out-of-Band (OOB) Managementを利用するための事前設定を行う]

電源制御の動作に関する詳細な説明については、以下のマニュアルを参照してください。

- SSC3.0の場合:リファレンスガイド[1.6. 電源制御について]
- SSC3.0u1, SSC3.1の場合:リファレンスガイド概要編[1.6. 電源制御について]
- SSC3.1u1の場合:リファレンスガイド概要編[1.7. 電源制御について]